

小規模・高齢化集落支援モデル事業の取組事例

新潟県佐渡市（安養寺集落連携促進協議会）

1. 協議会の概要

（平成21年4月作成）

協議会名		安養寺集落連携促進協議会	
構成員	市町村名	新潟県佐渡市	
	小規模・高齢化集落名	安養寺集落	15名
	協定集落名	安養寺集落	15名
	その他構成員	(有)佐藤工務店	
対象農用地面積 14.1ha		田 14.1ha	畑 — 草地等 —
交付金額(総事業費) 143.0万円		水路、農道等保安全管理支援事業 支援活動推進事業	141.0万円 2.0万円

2. 取組の概要

■地域の概要

佐渡は二列の山地が南北に並び中央に穀倉地帯の国中平野を挟み北と南では独特な地形が残されています。島の大部分が国定公園や県立自然公園に指定され、豊で美しい自然環境に恵まれています。産業は、米作りが中心で柿などの果樹栽培や干し椎茸作りも盛んです。漁業ではイカやブリが知られています。また、2008年秋にはトキの試験放鳥も行われ、10年後に小佐渡東部に60羽のトキを定着させることを目標にしています。

安養寺集落は、佐渡の中央部に位置し、金北山を背にしており自然豊でゆっくりと時間が流れる集落です。世帯数は17世帯と少ないですが、冬はスキー客で賑わいます。農業は稲作が中心で野菜等の栽培も行っています。中山間地域等直接支払事業では、近隣小学校と連携して学校田を実施しており、地域と子供たちとのつながりを大切にしています。

■活動に至った経緯

平成20年度に、県から本事業の紹介があり、対象となる集落へ事業紹介をしたところ、安養寺集落が興味を示し代表者へ事業説明を行いました。実際その時点では、高齢化が進んでおり農用地を管理するのが精一杯な状況でしたが、集落内で検討した結果、地域が活性化し道路も整備されるので取り組んでみようという方向になり、県・市を交えて打ち合わせを行い、11月6日に安養寺集落連携促進協議会が設立されました。

協議会の構成員には、安養寺集落、佐渡市のほか、集落で農道のコンクリート舗装を望んでいたことから、ノウハウのある(有)佐藤工務店が加わるようになりました。

打ち合わせの中で、どの場所を補修するかということが問題になりましたが、話し合いの結果、公共性の高い道路で実施することになりました。

■ 保全管理活動の概要

- ・2月27日～3月19日に農道のコンクリート舗装を行った。
- ・3月22日に水路の清掃を行った。
- ・3月24日に農道の清掃を行った。

■ 活動に取り組んだ後の効果

砂利道がコンクリート舗装になったことにより、車の通行も快適になったほか、今後の維持管理も楽になりました。今後の予定は、昨年度の反省を踏まえ協議会内でしっかりと話し合いを行い、集落が活性化していく方向で事業を実施していくこととしています。



安養寺集落の風景



設立総会の様子



コンクリート舗装作業



水路清掃作業